

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生学	2年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	片桐 裕史
授 業 概 要					
公衆衛生は人々の健康と生活を守り増進することを目的としており、医療とともに看護活動の基盤となるものである。本科目では、公衆衛生の概念や基本的な考え方、活動方法の基礎を学修する。また、様々な公衆衛生活動の中から、地域保健、感染症対策、食品保健、生活環境の保全を取り上げる。					
到 達 目 標					
1. 公衆衛生の定義と歴史、及び、公衆衛生に関連する概念を理解する 2. 公衆衛生の活動領域と特徴、活動の実施機関を理解する。 3. 健康と環境、及び、疫学的方法の基礎を理解する 4. 主な健康指標とそれらの動向を理解する 5. 公衆衛生活動のうち、地域保健、感染症対策、食品保健、生活環境の保全に関する活動の概要を理解する 6. 公衆衛生の今後の課題と展望を理解する					
回	学 習 内 容				担当教員
1-4	公衆衛生とは？ ①公衆衛生の定義、日本における公衆衛生活動の根拠 ②公衆衛生に関連する概念；健康、予防、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション 公衆衛生の歴史 公衆衛生の活動領域と特徴、活動の実施機関 ①主な活動領域と活動の特徴 ②活動の実施機関；衛生行政を担う行政機関、世界保健機関（WHO）、各国との国際協力				片桐 裕史 内藤由紀子
5-8	健康と環境、疫学的方法の基礎 ①健康と環境 ②疫学的方法の基礎；集団の健康被害の表現、危険度、疫学的方法の主な分類と分析疫学の調査方法 健康指標とそれらの動向； ①国勢調査 ②人口動態調査 ③生命表 ④国民生活基礎調査 ⑤国民健康・栄養調査 ⑥患者調査				
9-15	公衆衛生活動の概要 ①地域保健活動 ②感染症とその予防 ③食品保健（衛生） ④生活環境の保全 公衆衛生の今後の課題と展望				
学 習 方 法					
講 義					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 わかりやすい公衆衛生学 清水忠彦/佐藤拓代編 ノーヴェルヒロカワ 〔参考書〕 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 メディックメディア 厚生指針 国民衛生の動向 厚生統計協会					